PFASについてともに考えよう（パート1）意見交換　開催結果

■ 日　時　2026年8月2日（日）10:30～12:00

■ 場　所　明石市役所本庁舎8階　806会議室

■ 参加者数　41名
（幅広い世代の方々にご参加いただきました）



■ 主なプログラム
（1）情報の共有
　昨年12月開催の「PFASについて知り学ぶ勉強会」の振り返り
（2）意見交換（兵庫県立大学 高田先生によるファシリテーション）
　参加者全員による個人付箋ワーク、意見交換、全体発表

PFASについてともに考えよう（パート1）意見交換　開催結果

＜意見交換の概要＞

9つのグループに分かれ、膝の上の段ボール（えんたくん）を囲み、誰もがフラットで話しやすい雰囲気の中で意見交換を行いました。



☞個人付箋ワーク

参加者それぞれが、PFASに対して抱いている想いを3色の付箋に書き出し、えんたくんの上に貼り出しました。

ピンク色⇒不安　青色⇒提案　黄色⇒質問

☞意見交換

3色の付箋をもとにグループ内で意見交換を行いました。一人ひとりが発言し、非常に活発で主体的な対話が行われました。

☞全体発表

グループ内で話し合われた内容を整理し、各グループから全体に向けて発表を行いました。「不安・提案・質問」の多様な視点を会場全体で共有し、お互いの気づきを深めました。

PFASについてともに考えよう（パート1）意見交換　開催結果

＜意見交換の結果＞

意見交換で出された内容の一例

①不安	・明石市の水道水を飲み続けても大丈夫でしょうか。 ・井戸水や明石川の水を使って野菜を作っていますが、大丈夫でしょうか。 ・PFASでの健康被害はありませんか。健康への影響が心配です。 ・子どもや孫など、将来世代への影響はありませんか。
②提案	・明石川が市境を越えているので、神戸市と共同で取り組めませんか。 ・血液検査の実施や、公費助成、健診項目への追加などはできませんか。 ・きめ細やかな情報発信（市報、説明会など含む）をしてもらえないでしょうか。 ・家庭で浄水器をつける必要はありますか。またその際に、助成金で購入を補助する考えはありませんか。
③質問	・明石川のPFAS汚染の原因の特定に向けて、どのような取組をしていますか。 ・川や海の魚、タコなど海産物への影響はありますか。心配です。 ・体内に蓄積されたPFASを体の外に出す方法はあるのでしょうか。 ・阪神水道企業団の水に切り替えるのはいつからですか。 ・阪水のPFAS濃度は安全なのでしょうか。 ・国には、どのような要望をしてきましたか。